

<令和4年度 第1回伊賀市高齢者施策運営委員会 議事録>

【開催日時】 2022(令和4)年 11月8日(火) 14時00分～15時10分

【開催場所】 伊賀市役所本庁舎2階 202・203 会議室

【出席委員】 12名(小沢委員、富山委員、和久田委員、辻中委員、山路委員、杉森委員
平井委員、森田委員、常岡委員、中島委員、島井委員、坂本委員)

【事務局】 健康福祉部: 谷口部長

介護高齢福祉課: 川口課長、中村主幹兼係長、廣瀬主幹兼係長、出山主任

包括支援センター: 濱村次長兼所長、松永室長、市川係長、平田主査、加藤
中山

【傍聴者】 2名

1. 開会あいさつ

・谷口部長

2. 委員紹介

・各委員から順番に自己紹介。

3. 委員長・副委員長選出

・委員長は山路委員、副委員長は平井委員に決定。

4. 議事

(1) 伊賀市高齢者輝きプラン第6次高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画における進捗状況について

～事務局より資料1について説明～

(委員からの意見)

- ・伊賀市では、他自治体と比較しサロンの数が少なく、介護予防に関する取組が遅れている。要介護状態にならないような介護予防活動が重要になる。
- ・コロナ禍により従来の評価指標では評価が低くなってしまう。実施したことが結果として現れるように、次期計画では、コロナ禍も見据えた評価指標の設定が必要と思われる。

(2) 令和3年度伊賀市地域包括支援センター事業実施報告

～事務局より資料2について説明～

(委員からの意見)

- ・県内の人口規模で比較すると伊賀市の虐待認定件数がかなり高い数字になっているが、いち

早く虐待を発見して早く対応していることで良いと思われる。次期計画には、高齢者本人の権利を守るための施策を充実させることが必要と考える。

- ・虐待の件数が増えていることの背景を探り分析する必要がある。
- ・相談件数が増えていることについて、増えることでどうなるのか、増えたことに対しどうするのか、そのあたりの意図を教えてください。

⇒(事務局)虐待の通報が増えている要因として2つあると考えている。1つは啓発により虐待の認識が進んだこと、もう1つは、夫婦間での虐待が増えている、加えて、子の配偶者からの虐待が増えており、コロナ禍による外出控えなどによるストレスもあるのではと考えている。今後は、この件数を減らしていく方策を考えていきたい。

- ・虐待の背景には、全国的に7割くらい認知症があると言われている。伊賀市でも同様か。

⇒(事務局)伊賀市でも同様です。

- ・介護者の支援が大事。その支援をどうしていくか検討していきたい。

(3)第7次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画について

～事務局より資料3について説明～

(委員からの質疑)

- ・委託業者は前と同じところか？

⇒(事務局)前回とは違うが、過去には、委託したこともある業者です。

(4)その他

(事務局から)

- ・高齢者福祉サービスを1冊のガイドブックにまとめたものを作成しており、完成次第、関係各所に配布予定。

(委員からの意見)

- ・このガイドブックをホームページでも見られるようにしてほしい。

⇒(事務局)完成後、そのようにしたい。